ISSN 0919-4657

KONC

関西自然保護機構会誌

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

28巻2号（通算52号）

シンポジウム　関西の自然を考える



セミナー　和歌浦の干潟





2007年2月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

奈良春日山のライトセンサスでみつけたシカ，イノシシ，ムササビ

写真・文　鳥居　春己

これらは春日山のライトセンサスで最もよく見られる動物。公園の個体と比べると，ここのシカは人への警戒心が強く，群れサイズも小さい。イノシシは道路脇で見かけることが多いが，母と子の例が多い。ムササビはライトだけでなく，頭上から聞こえる声でも見つけられる。他にテンやタヌキも頻繁に目撃するが，写真撮影できるほどのんびりしていてはくれない。

関西自然保護機構（**KONC**：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONC は自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して，自然環境保全に関する各分野での研究を結集し，その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして，1978年に創立されました。

KONC はその活動の成果と，会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて，近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザリー・ボディ（助言勧告機関）として，社会の要請にこたえることを企図しています。

現在，次のような活動をしています。

1．基礎研究の実施
2．シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3．現地見学会の開催
4．研究助成金の交付
5．会誌・連絡紙の発行
6．自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7．自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8．国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は，個人会員・維持会員の会費により，まかなわれています。